

【仙台市消防局(全国消防長会救急委員会委員長都市)】

団体に関連した、循環器病に係る現状・課題と今までの取組について

現状:

救急出場件数の増加(H30年は10年前と比較し約29.6%の増加)に伴う、現場到着時間、病院収容時間の延伸(平成30年中、全国平均39.5分⇒10年前と比較して4.5分の延伸)

課題:

増大する救急需要に対して、限りある救急資源の中で迅速な現場到着や搬送が求められる一方で、現場において高度な応急処置等の実施が求められること。

取組:(循環器病等に対応するために医師引継ぎまでの時間短縮を目的)

- ・消防法35条の5(救急搬送に関する実施基準)に基づく、受け入れ可能医療機関をリスト化。
- ・地域の実情に応じたドクターヘリ等との連携活動や12誘導心電計の心電図伝送。
- ・救急救命士の再教育(2年間で128時間以上)内での循環器病等の再教育

短期的(数年程度)に重点的に取り組むべきと考える

循環器病対策とその理由について(予防・普及啓発、保健・医療・福祉の提供体制、研究等)

中長期的(10年単位)に重点的に取り組むべきと考える循環器病対策とその理由について(予防・普及啓発、保健・医療・福祉の提供体制、研究等)